

## 行政調査報告書「環境首都推進特別委員会」

平成 19 年 10 月 23 日(火)～25 日(木)

## 福島県いわき市『いわき市環境基本計画年次報告書について』

## 『新エネルギーの利活用について』

年次報告書の特徴は、「いわき市環境審議会」及び「いわき市環境調整会議」の 2 つが P D C A の進行管理を円滑かつ柔軟に進行管理を行い、ISO14001 の管理手法を取り入れた体制をとっている。ごみ問題については子どもたちだけでなく、大人が自ら実践できるよう施設での体験学習の充実を図るなど、各世代に応じた効果的な学習方策を行っている。さらに、資源ごみの分別回収方法は、高齢者に配慮し市民が参加協力しやすいような創意工夫をされている。



新エネルギーの利活用については、全国でも日照時間の長いことを活かした太陽光エネルギーと木質バイオマスエネルギーを積極的に取り入れている。これまでに学校や公園など身近な公共施設に太陽光発電を設置し、公民館や支所に木質ペレットストーブなどのバイオマスエネルギーを導入されている。これからも様々な新エネルギー導入を計画されており、環境にやさしいまちづくりを推進している。

## 埼玉県川越市『かわごえ環境ネットについて』

地球温暖化に対する取組みとして、電力消費量増による発電設備を作るのではなく節電をして需要を減少させ、既存発電施設の安全性の確保、新エネルギーの開発・促進などに協力・努力すべきとの考えから、平成 8 年 4 月に「1% 節電運動」を開始された。消費電力量、消費電力料金及び二酸化炭素量は、毎年着実に削減されている。この運動で浮いた経費を、住宅用太陽光発電システム設置事業補助金として市民に対し見える形で還元されている。



## 群馬県館林市『住民と共に進める地球温暖化対策について』



ヒートアイランド対策、行政の省エネ対策について説明をいただいた。200 万本植樹運動、市民一斉気温調査(場所ごとの気温を調査し、関連事業への展開する)、緑のカーテン事業、緑の少年団の編成(小学生が校庭の緑化の管理や市イベントを手伝い)、庁内プロジェクト編成、グリーンバンク制度(家庭の不要な庭木を 1ヶ所に集め必要な方に配る)、緑化ヘルパー(樹木の消毒や手入れの支援)など、市民の環境に対する意識改革を積極的に行っており、環境意識の向上につながる多くの施策を実施されている。